



国際子ども図書館 学校図書館セット貸出し 中南米セット 中学校向 資料解題

この冊子は、学校図書館セット貸出しに含まれる本の解説です。
本の紹介、展示の作成や、学校図書館での選書などにご利用下さい。

No	書名	出版社	出版年	請求記号	関連国・地域
1	国別大図解 世界の地理 5 南北アメリカの国々	学研教育出版	2010	Y2-N10-J67	—
2	南・北アメリカの音楽(※CD付き)	ポプラ社	2003	YU81-H55	—
3	世界のスポーツ 1 南北アメリカ	学習研究社	2005	Y12-N05-H50	—
4	グレートジャーニー:人類400万年の旅 南米編 1	毎日新聞社	1995	GA92-E303	—
5	スペイン・ポルトガルの文字と言葉(世界の文字と言葉入門 11)(※CD付き)	小峰書店	2005	YU81-H343	—
6	みんなの世界遺産 7(北アメリカ・南アメリカ・オセアニア)	岩崎書店	2000	YU81-155	—
7	コロンブスの航海	評論社	1979	Y2-409	—
8	失われた文明 インカ	日本放送出版協会	2007	GH321-H13	ペルー
9	写真でわかる謎への旅 イースター島	雷鳥社	2005	GJ136-H2	チリ
10	写真でわかる謎への旅 メキシコ/マヤ&アステカ	雷鳥社	2001	GH361-G21	メキシコ
11	メキシコ(ナショナルジオグラフィック世界の国)	ほるぷ出版	2007	Y2-N07-H215	メキシコ
12	極彩色メキシコ巡礼	晶文社	2001	GH361-G19	メキシコ
13	平和ってなんだろう	岩波書店	2009	Y1-N09-J336	コスタリカ
14	キューバ(ナショナルジオグラフィック世界の国)	ほるぷ出版	2009	Y2-N09-J44	キューバ
15	カリブ海の宝石「モラ」	バレード	2007	KB16-H1108	パナマ
16	コロンビア(ナショナルジオグラフィック世界の国)	ほるぷ出版	2009	Y2-N10-J12	コロンビア
17	ブラジル(体験取材!世界の国ぐに 6)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H44	ブラジル
18	ブラジルと出会おう	国土社	2001	Y1-N01-66	ブラジル
19	ジンガ:ブラジリアンフットボールの魅力	ブチグラフィック	2006	KD978-H369	ブラジル
20	ペルーの中学生	学習研究社	2003	Y5-N04-H51	ペルー
21	ペルー(ナショナルジオグラフィック世界の国)	ほるぷ出版	2008	Y2-N08-J14	ペルー
22	ペルー・ボリビアのむかし話:インカにつたわる話	偕成社	2000	Y9-N04-H357	ペルー・ボリビア
23	うさぎのみみはなぜながい	福音館書店	1962	児726-Ki287u	メキシコ
24	ブエノスアイレス雑貨と文化の旅手帖	毎日コミュニケーションズ	2008	GH467-J5	アルゼンチン
25	チリ(体験取材!世界の国ぐに 7)	ポプラ社	2006	Y2-N06-H45	チリ
26	ヨーロッパ/アメリカの紛争	岩崎書店	2004	Y1-N04-H201	—
27	学校に行けないはたらき子どもたち 3 中南米	汐文社	2004	Y1-N05-H5	—
28	ジャングル(絵本図鑑シリーズ 14)	岩崎書店	1993	Y11-4957	コスタリカ
29	ギアナ高地巨大穴の謎に迫る	日本放送出版協会	2003	GH436-H1	ベネズエラ
30	熱帯雨林に生きる人びと	鈴木出版	2003	Y2-N03-H79	ブラジル
31	ガラバゴスがこわれる	ポプラ社	2007	RA172-J1	エクアドル
32	アマゾンで地球環境を考える	岩波書店	2005	Y1-N05-H341	ブラジル
33	世界の料理いただきまーす。:ペルー・アルゼンチン	アリス館	2004	Y1-N04-H182	—
34	南北アメリカのお菓子	岩崎書店	2005	Y1-N05-H129	—
35	ペドロの作文	アリス館	2004	Y9-N04-H169	チリ
36	La composicion(スペイン語)(ペドロの作文)	Editorial Sudamericana	2006	Y17-B8162	チリ
37	むこう岸には	ほるぷ出版	2009	Y18-N09-J188	チリ
38	La otra orilla(スペイン語)(むこう岸には)	Ediciones Ekaré	2007	Y17-B10035	チリ
39	やんちゃなマルキーニョ	静山社	2009	Y18-N09-J421	ブラジル
40	O menino maluquinho(ポルトガル語)(やんちゃなマルキーニョ)	Melhoramentos	2000	Y17-B10571	ブラジル
41	Cambalhota(ポルトガル語)(とんぼ返り)	Companhia das Letrinhas	2003	Y17-B3632	ブラジル
42	La niña de la Calavera(スペイン語)(どくろの少女 マプチェ人の昔話)	Editorial Amanuta	2006	Y17-B10765	チリ



国別大図解世界の地理 5 南北アメリカの国々

井田仁康 監修

学研教育出版 2010年

北米2国と中南米の主な19の国々について、首都、人口などの基本データとともに自然や産業、歴史などをカラー写真や図を多用して一目で国の特色がわかるように紹介している。巻頭に南北アメリカの地図と基本データ一覧があり、中南米全33カ国を比較できる。特集「世界の国々探検隊②」では、中南米の三文明を見開きでコンパクトに解説している。

南・北アメリカの音楽（国際理解に役立つ世界の民族音楽 6）

千葉泉 著；こどもくらぶ 編

ポプラ社 2003年

主に中南米の多様な民族音楽を紹介。各国地域の風土・文化や歴史の説明を読むと、先住民族、征服者のヨーロッパの人々、奴隷として連れて来られたアフリカの人々が影響し、サンバやタンゴのリズムや音楽が育まれてきたことがわかる。ペルーのケーナ（縦笛）やブラジルのアタパーキ（打楽器）等、多くの民族楽器の写真に掲載。付録CDで中南米の音楽をぜひ聴かせてほしい。索引付き。

世界のスポーツ 1 国際理解に役立つ！（南北アメリカ）

友添秀則 監修

学習研究社 2005年

南北アメリカで盛んなサッカー、キューバやドミニカで人気の野球、バスケットボールなどの歴史、ルール、エピソードを魅力ある写真や挿絵を交えて解説する。ブラジルのサッカーの章での、サポーターたちの姿やサッカースクール、素質のある子どもたちを無料で指導し、育てていく仕組みは興味深い。また、先住民の伝統的な民族スポーツについてもイラスト入りで紹介する。巻末に索引と参考文献あり。

グレートジャーニー：人類400万年の旅 南米編 1

関野吉晴 著

毎日新聞社 1995年

南米からアフリカまで人力のみで旅をしたシリーズの1巻目が南アメリカ。フルサイズで掲載されている写真を見ると、パタゴニアの氷河や荒涼としたチリの「月の谷」などの自然に圧倒される。定住型の旅の中で撮られた写真からは、先住民の生活感が伝わる。後半の関野氏の冒険記では、強風で20kg以上のそりが吹き飛ばされた経験などが書かれていて、現地の自然の厳しさがわかる。

スペイン・ポルトガルの文字と言葉（世界の文字と言葉入門 11）

黒澤直俊 監修；こどもくらぶ 著

小峰書店 2005年

大航海時代を経て、スペイン語とポルトガル語は、中南米を主として世界中で使われている。この本では文字やあいさつの表現の他にも、食べ物など、生活に密着した言葉が写真とともに紹介されている。中南米の人が数多く暮らす日本の街中で見かける多言語の看板写真など、文字からその国の文化に親しむことができる。CD付き。

総合学習に役立つみんなの世界遺産 7 北アメリカ・南アメリカ・オセアニア

城戸一夫 監修；倉部きよたか 著

岩崎書店 2000年

「ナスカの地上絵」（ペルー）やキューバの旧市街などの文化遺産、アルゼンチンの巨大氷河等の自然遺産、マチュ・ピチュ歴史保護区の複合遺産など中南米と北米・オセアニアの世界遺産を含めた30項目を大判のカラー写真で紹介。各項目には解説のほか、参考図書や関連文献が掲載されている。巻末に国名の五十音順別の世界遺産リストを付す。

コロンブスの航海

ピエロ・ベントゥーラ 絵；ジアン・パオロ・チェゼラーニ 文；吉田悟郎 訳

評論社 1979年

コロンブスは、黄金の島ジパングを目指し西へ航路をとり、新大陸を発見した。当時の船や乗組員の服装、港町の様子を緻密で動きのある挿絵とともに解説する。当時の地理概念、初めに到着した島の原住民の暮らしについても書かれている。コロンブスの航海でトウモロコシ、ジャガイモやタバコなどが発見され、世界中に広まった。一方、現地にとっては暴力と略奪により征服される数百年の植民地の歴史の幕開けでもあった。

NHK スペシャル 失われた文明 インカ

恩田陸，NHK「失われた文明」プロジェクト 著

日本放送出版協会 2007年

NHK「失われた文明」で取材した成果。ペルーのマチュ・ピチュ遺跡「天空に続く道」を旅する。列車を乗り継ぎ、インカの道を歩き、聖域を目指す。マチュ・ピチュの光景から物語を紡ぐ作家、不思議な力を持つ「最後のインカ」に直面したディレクター、遺跡や史料からインカ文明の研究する人類学者、3者のインカ考をそれぞれ読み比べるのも面白い。作家恩田陸の紀行文を切り口に紹介してもよいだろう。

写真でわかる謎への旅 イースター島

柳谷杞一郎 著

雷鳥社 2005年

イースター島は、チリの首都から飛行機で約5時間。この南太平洋の人口3,000人の孤島に来る観光客の目当ては、1,000体のモアイである。本書は、雄大で荘厳な島の風景写真とともにモアイの謎を解き明かす。写真から、現在の島での暮らしもわかる。1990年代に日本のクレーン会社が出資し、日本とチリの考古学会協同の「モアイ修復プロジェクト」により、200年ぶりにモアイは起き上がった。モアイと日本との関わりとして紹介してほしい。

写真で見る謎への旅 メキシコ/マヤ&アステカ

辻丸純一 構成・写真；土方美雄 文

雷鳥社 2001年

メキシコにはマヤ・アステカ文明の壮大な遺跡群が点在する。森林の中のピラミッドや神殿、独創的な美術品の数々。豊富な写真から文明のスケールを感じとってほしい。遺跡の詳細な写真と説明を追ううちに遺跡巡りをしている気分になる。文明の謎を解きほぐすように、マヤ・アステカ文明以前の歴史や衰退した原因がわかる。巻末にもっと深く知るためのブックガイド、年表あり。

メキシコ (ナショナルジオグラフィック世界の国)

ベス・グルーバー 著；ゲアリー・S.エルボウ，ホーヘイ・サモウラ 監修

ほるぷ出版 2007年

現代のメキシコは、先住民の豊かな文化と長いスペインの支配、大国アメリカの隣国という3つの要素の影響を受けている。そんなメキシコの地理、自然、歴史、文化、政治・経済等を詳細に解説。美術品では、アステカ文明のトルコ石で覆った頭蓋骨や、先住民の伝統文化とスペイン人の技術とが融合した壁画や民芸品などが紹介され、印象深い。巻末に年表、用語解説、索引等あり。

極彩色メキシコ巡礼

小野一郎 著

晶文社 2001年

建築家によるメキシコ紀行の本。メキシコ独自のウルトラバロックという建築様式から、古代アメリカの土着文化とスペイン統治による西洋文化の2つの文化をルーツに持つ国の複雑さと面白さがわかっ

てくる。大人向けの本だが、日本人の感覚からすると装飾過多とも思える写真にインパクトがあるので、メキシコの歴史や文化を学習する際の導入や発展のための教材に適している。

平和ってなんだろう：「軍隊をすてた国」 コスタリカから考える

足立力也 著

岩波書店 2009年

コスタリカにはなぜ軍隊がないのか。中学3年生の社会科公民の授業中に疑問を抱いた著者は、その後、実際にコスタリカに行き取材する。「積極的永世非武装中立宣言」は、やむにやまれぬ事情から出されていた。開かれた国会、子どもが参加する選挙、塙のない刑務所、無料の病院など興味深い。日本での「平和」を考えるきっかけにもなるだろう。

キューバ (ナショナルジオグラフィック世界の国)

ジェン・グリーン 著；ダミアン・フェルナンデス，アレハンドロ・デ・ラ・フェンテ 監修

ほるぷ出版 2009年

植民地時代や革命など、激動の数世紀を過ごしたキューバ。そこは観光客向けの施設はなく自然が残り、約2cmの世界最小の蛙など固有生物の宝庫でもある。また先住民、スペイン人、アフリカ人の文化が混じり合い、陽気な音楽も生まれた。本書は、そんな多彩な面を持つ国を多くの写真と地図で分かりやすく紹介している。巻末に年表、用語解説、索引等あり。

カリブ海の宝石「モラ」：前田佳子コレクション

前田佳子 著

パレード 2007年

カリブ海に浮かぶパナマ共和国サンブラス諸島に住む先住民族、クナ族が作る民族衣装モラの写真集。鮮やかな色使いやユニークな文様のアップリケされたモラは、見るだけでも楽しい。日本で長年モラを教えてきた筆者がクナ族を訪ねた生活体験記も含まれており、カリブ海に住んできた人々の文化を感じることができる。

コロンビア (ナショナルジオグラフィック世界の国)

アニタ・クロイ 著；ウルリッヒ・オスレンダー，マウリシオ・パルド 監修

ほるぷ出版 2009年

南アメリカへの玄関口と呼ばれるコロンビア。本書は、この国を自然、文化、歴史、政治などあらゆる面から詳しい解説と共に紹介する。多くの財宝が沈んでいるというグアタヴィータ湖の伝説や、一日に3万匹ものアリを食べるオオアリクイ、歌手シャキーラを説明したコラムは、面白い視点で書かれ興味を惹く。美しい写真や地図が豊富で、この国への関心が深まる。巻末に年表、用語解説、索引あり。

体験取材！世界の国ぐに 6 ブラジル

岡崎務 文・写真；矢ヶ崎典隆 監修

ポプラ社 2006年

日本の反対側に位置するブラジル連邦共和国について、網羅的に知ることができる一冊。自然、人種、産業、文化など、あらゆる分野について、実際の取材をもとに丁寧な文章で伝える。写真も豊富で、日系ブラジル人や現地の日本人学校に通う子どもたちの声を載せたコラムを紹介すると一層この国を身近に感じてもらえるだろう。巻末に、データ、索引付き。

ブラジルと出会おう

谷啓子，富本潤子 編著

国土社 2001年

南米出身者への教育問題に取り組んでいる「外国人児童生徒保護者交流会 (IAPE)」ポルトガル語教室が編集。ブラジルの記念日やお祭り、子どもの好きな軽食や菓子の作り方、遊び、歴史や日本との関

わりなどが書かれている。ポルトガル語の章では、カードを作って遊びながら言葉を学べる。ブラジルの日本人学校での楽しい生活と日本の学校に編入したブラジル人の子どもや編入先の先生から見た記事があり、異文化交流の難しさも見えてくる。

ジンガ:ブラジリアンフットボールの魅力

竹澤哲 著

プチグラフィック 2006年

「ジンガ」とは、ブラジルサッカー特有の特殊な動き、バランス感覚そしてブラジル人の生き方である。ブラジルサッカーのドキュメンタリーとして、明るくポジティブに将来を見つめ、ジンガで夢を目指す10人の若者の姿を描いた本。世界最強の名選手、ロマリーニョ、ロビーニョ、ロナウジーニョ。松葉杖サッカー、そして未来を夢見る子ども達。巻頭カラー写真から紹介したい。巻末に映画情報、参考文献あり。

ペルーの中学生（世界の中学生：みんなで楽しく国際交流！ 6）

杉崎洋一郎 指導

学習研究社 2003年

ペルーに住む中学生の様子が分かる。ペルーの国立中学校や日系の私立学校等を取り上げ、時間割や授業、クラブ活動等の学校生活を紹介。日系4世14歳のアンジェリーをはじめとした中学生6人が日常生活や将来の夢などを語る章もあり、ペルーを身近に感じることができる。地理的な情報は載っていない。スペイン語による自己紹介の会話文付き。

ペルー（ナショナルジオグラフィック世界の国）

アニタ・クロイ 著；ヒルデガルド・コルドヴァ・アグイラー、デービッド・J.ロビンソン 監修

ほるぷ出版 2008年

南米で3番目に大きな国ペルー。その歴史は、長く、波乱に富んでいる。本書は、ペルーの地理に始まり、自然、文化、歴史、政治事情に至るまでを、わかりやすく紹介。ペルーの文化を語る上で欠かせないインカ帝国の謎や「グアノという鳥の糞で儲けた話」など、生徒の興味を惹きそうな項目をコラムにして伝える。写真も豊富で美しく、実際に行ってみたくなる。巻末に年表、用語解説、索引等あり。

ペルー・ボリビアのむかし話：インカにつたわる話

加藤隆浩 編訳

偕成社 1989年

インカ帝国の子孫、ケチュア族とその近隣の民族の昔話集。ペルーやボリビアは、インカ帝国があったアンデス山地にある。著者が直接に聞き書きした昔話も含め、ペルー14話、ボリビア9話を収録する。みずぼらしい姿の老人が神様だったという「黄金になった小麦粉」や先住民の正直さを伝える「石のスープ」など、短い話は読み聞かせにも使える。

うさぎのみみはなぜながい

北川民次 ふんとえ

福音館書店 1962年

アステカの昔話。小さなうさぎが、神様に体を大きくして欲しいと願った。すると神様は、三匹の動物の皮を手に入れたら叶えてやると言う。うさぎは、知恵を絞って皮を持っていくが、神様は利口なうさぎの耳を持って大地に放り投げた。それでうさぎの耳が長くなったという由来譚。地味な色彩の絵だが、遠目がきき、集団の読み聞かせにも向く。作者の北川民治は、1914年に渡米後、メキシコで長年過ごし、帰国後に絵画を発表し、画家としての地位を確立した。

ブエノスアイレス雑貨と文化の旅手帖

栗本齊 著

毎日コミュニケーションズ 2008年

日本から一番遠い大都市からアルゼンチンを知る本。都市ブエノスアイレスは、スペイン語で「よい空気」という意味。植民地時代を色濃く残した街並みや活気ある市場の色鮮やかな写真から、異国の空気を感ずる。カフェのメニュー、お菓子、肉など食べ物も美味しそう。人気のサッカーや音楽、アルゼンチンを知るための映画や本も紹介する。興味ある分野からアルゼンチンに関心をもってもらいたい。

体験取材！世界の国ぐに 7 チリ

佐々木ときわ 文・写真；林竹人 監修
ポプラ社 2006年

南北に細長い地形のチリは、場所により自然環境が異なり、南米で最もヨーロッパ文化の影響が強い。そんなチリの人々の生活や自然などを首都、中央部、北部、南部、地形の順に豊富なカラー写真で紹介する。都市部では、学校生活と現地の生徒へのインタビューや日本人学校の生徒の声も紹介する。巻末に国の歴史と基本データ、索引あり。

ヨーロッパ/アメリカの紛争（国際紛争の本 5）

大芝亮 監修
岩崎書店 2006年

地域ごとにさまざまな国際紛争を説明した本。中南米の事例は、「コロンビア紛争」、「キューバ危機」、「ペルー日本大使公邸占拠事件」等で、複雑な中南米諸国の関係やアメリカとの関係を地図や写真で簡潔に記す。「何が」、「どこで」、「なぜ」と説明し、最後に「これからの展望は？」で論点を示している。発展学習のきっかけにすると良い。

学校に行けないはたらく子どもたち 3 中南米

田沼武能 写真・文
汐文社 2004年

貧富の差が大きく生きるために働かざるを得ない多くの中南米の子ども達の写真集。彼らは「早く親の生活を助けてあげたい」と思い、貧しくとも明るく逞しく生きている。各写真には、写真家の眼を通した説明が一言ずつ添えられ、風景を交えた子ども達の様子がよく伝わる。巻末に、地理や歴史等の解説とキーワード索引あり。

ジャングル（絵本図鑑シリーズ 14）

松岡達英 作
岩崎書店 1993年

コスタリカの熱帯雨林で、多種多様な生物が調和して生きている様子を紹介する。鮮やかな絵は、精密かつ写実的で、読んでいるうちにジャングルを探検している気分になる。著者がスカンクをトイレから観察する様子など、各々の絵には著者が現地で観察した内容が説明され、わかりやすい。あとがきでは、森林伐採の現状や自然保護の大切さを訴えている。見返しに現地でのデッサンとメモがあり。

ギアナ高地巨大穴の謎に迫る（NHK スペシャル）

早川正宏、チャールズ・ブリュワー＝カリアス 著
日本放送出版協会 2003年

視聴率20%を超えた『NHK スペシャル 巨大穴の謎に迫る 秘境南米ギアナ高地』を、迫力ある写真と文章で再現。台状の岩山テーブルマウンテンが連なる中に深さ350m超の巨大な堅穴があった。その巨大穴を取材しようと挑む。断絶された堅穴でのみ生息する植物、昆虫、両生類、爬虫類。先住民マキリタリの生活と緑の魔境での取材班の苦闘ぶり。スケールの大きな南米大陸の大自然を紹介したい。

熱帯雨林に生きる人びと（地球をささえる熱帯雨林 6）

エドワード・パーカー 写真と文；WWF ジャパン日本語版 監修

鈴木出版 2003年

アマゾンを含む中南米を中心に、熱帯雨林に住む人々の生活を紹介する。森を維持管理できる先住民と開発により森を破壊する移住者、環境の変化、森や人々の生活の保護について、豊富な写真で説明する。今後の地球全体の自然保護についても考えさせられる。先住民の知恵が現代の医療に役立っていることなどのコラムや豆知識が多くあり興味深い。巻末に各先住民の説明付き。

ガラパゴスがこわれる

藤原幸一 写真・文

ポプラ社 2007年

南米エクアドルにある楽園ガラパゴス諸島。16年間ガラパゴスを撮り続けた著者は、生き物が人間によって危機に直面する様子を色鮮やかな写真で伝える。しかし「こわれる」環境問題に留まらない。悲惨な現状を知るのみでなく、人間の知恵を使い未来へ行動することを示唆する一冊。子どもたちに「ガラパゴス森再生プロジェクト」を紹介すると、現在も続く活動が理解できるだろう。巻末に英文併記で各写真の解説あり。

アマゾンで地球環境を考える

西沢利栄 著

岩波書店 2005年

アマゾンの熱帯雨林、大河の役割、森林消失、砂漠化について、各種データを踏まえて解説した本。環境問題に関する国際的な動向にも触れる。筆者はブラジルで34年にわたり研究を行ってきた環境科学の研究者。内容は難しいが、専門的な解説は、環境問題を調べる際に役立つだろう。アマゾン川流域地図付。

世界の料理いただきまーす。：ペルー・アルゼンチン

尾崎曜子 編・絵

アリス館 2004年

白いご飯の中に具が隠れているペルー料理「おたのしみごはん」、牛肉にパン粉をつけたアルゼンチン焼肉「ミラネッサ」等の郷土料理がカラー写真で紹介されている。国の特徴やあいさつなど言葉の項もあり、その国への理解も深まる。作り方は、柔らかいタッチの絵で親しみやすく、簡単にできそうで作りたくなる。学校の授業や家庭で実際に作ると楽しいだろう。

南北アメリカのお菓子（どんな国？どんな味？世界のお菓子 6）

服部幸應、服部津貴子 監修・著

岩崎書店 2005年

世界各国の伝統的なお菓子を紹介したシリーズ。お米をミルクで煮た「アロス・コン・レチュエ」やアンデス原産のかぼちゃやさつまいもを使ったドーナツ「ピカロネス」など南北アメリカに伝わるお菓子10種類のレシピを紹介。写真がきれいで、子どもの興味をひく。アンデス原産の野菜が世界中に伝わった理由や、南米各国の食生活など、お菓子の説明に加えた食文化に関する説明も面白い。巻末に用語説明と索引付き。

ペドロの作文

アントニオ・スカルメタ 文；アルフォンソ・ルアーノ 絵；宇野和美 訳

アリス館 2004年

La composicion（スペイン語）

Antonio Skarmeta ; ilustraciones, Maria Delia Lozupone.

Editorial Sudamericana c2006

ペドロは、9歳の男の子。1970年代の軍事政権下のチリ、両親は毎晩ラジオで政情を聞いている。ある日、ペドロの学校に軍人が来て、家の様子を作文に書くように言った。ペドロの書いた作文とは。こ

の絵本はチリの作家が書いているが、本国では出版できず、フランスで紹介されたのち、2000年にベネズエラで絵本が出版された。アルゼンチン版と日本語版の絵の違いも見比べてほしい。

むこう岸には

マルタ・カラスコ 作；宇野和美 訳

講談社 1995年

La otra orilla (スペイン語)

Marta Carrasco Ediciones Ekare 2007

チリの絵本。川辺に住む女の子は、母からむこう岸に行かないと言われていた。ある日、対岸の男の子の誘いで川を渡る。住んでいる人々の髪や肌の色も服装も自分達とは違っていたが、焼き立てのパンからは同じ匂いがした。二人はいつか川に橋をかけて、行き来したいと願う。2008年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

やんちゃなマルキーニョ

ジラルド 作；松本乃里子 訳

静山社 2009年

O menino maluquinho (ポルトガル語)

Ziraldo.

c2000 Melhoramentos

ブラジルで1980年の初版以来、250万部の発行数を誇り、親から子へ読み継がれて来た絵本。元気いっぱい何でも興味を示すマルキーニョは、作者の幸せな子ども時代の回想である。サッと飛び跳ねるようなタッチの漫画風な絵が、マルキーニョのやんちゃぶりとよく合い、ブラジルの男の子の日常がわかる。ブラジルでは、続編も出されシリーズ化している。

Cambalhota (ポルトガル語)

とんぼ返り*

Ricardo da Cunha Lima ; ilustracoes de Mariana Massarani.

Companhia das Letrinhas 2003

ブラジルの詩の絵本。工場長が発明した座面が上下し、健康にもよく、嫌や客を追い払うこともできるという「自動椅子」や町の交通問題を解決するために、市役所がしゃべる標識を設置する「おしゃべりな標識」など身の回りのものを題材とした楽しい詩が並ぶ。表情豊かな絵は、ユーモアにあふれカラフルで詩の理解を助ける。2006年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

*：タイトルは参考訳です

La niña de la calavera : cuento basado en un relato mapuche (スペイン語)

どくろの少女：マプチェ人の昔話*

Marcela Recabarren; ilustraciones, Raquel Echenique

Editorial Amanuta 2006

チリ南部の先住民族マプチェ人の昔話。美しい娘が、美しさを妬んだ意地悪な継母から戦士の骨で呪いをかけられ、顔をどくろに変えられてしまう。呪いを解くため、娘が別の戦士の骨をあつめると骨は立派な戦士になった。アニメーション映画を基に絵本化した作品は、図案化された絵柄でマプチェ人の衣装や髪型、現地の動植物の特徴をよくとらえる。2006年国際児童図書評議会オナーリスト賞絵画部門受賞。

*：タイトルは参考訳です

国立国会図書館 国際子ども図書館
児童サービス課 児童サービス企画係
URL : <http://www.kodomo.go.jp/>